

日本鐵鋼協會記事

昭和 26 年度第 6 回理事會 日時：26—8—8 (水) 16 時 30 分～19 時。會場：協會々議室。出席者：(會長) 田中清治，(理事) 石原善雄，内川悟代理 伊藤 博。(前會長) 三島徳七，山岡 武。(監事) 志村清次郎。(常務委員) 石田四郎，菊池浩介，西村吉太郎。(主事) 金谷三松 **報告事項** 1. 昭和 26 年度第 5 回編集委員會 26—7—24 (火) 16 時 30 分～21 時。會場：協會々議室。出席者：(理事) 岡本正三君，(常務委員) 菊池浩介君，(編集委員) 阿部信男君，内山道良君，長谷川正義君，濱本甲子生君，松下幸雄，三橋鐵太郎君，安田洋一君，吉崎鴻造君(代理)，(主事) 金谷三松，(報告) (1) 昭和 26 年 6 月號は 7 月 4 日竣成發送済み。(2) 同 7 月號は 7 月 28 日竣成の豫定。(3) 俵先生誕生祝賀會記事は 7 月號に掲載済み。(4) 技術資料の原稿として次の通り依頼狀を發送のこと。

a. 廻轉爐製鋼法の經驗 b. 褐鐵鑛の處理法 c. 硫酸滓の利用等 d. 粘結炭の問題 e. 砂鐵の處理法 f. 酸素製鋼法 g. 轉爐操業法 (協議) (1) 昭和 26 年 10 月號原稿選定の件。(2) G.H.Q 情報部提供資料掲載の件，(決定) 掲載見合せ。(3) 日本工學會より照會の次記 2 件 a. Japan Science Review え原稿送付の件決定。俵賞のものを順次出すこと、し久田清明君え依頼のこと。b. 戦時中研究されたもので機密保持その他の理由にて未刊行のもので此際刊行を要するもの，決定該當のものなし。(4) 米國冶金會議出席者携帶用日本鐵鋼協會，日本金屬學會兩會研究論文英譯のもの蒐集方の件 (決定) 年號順別に。(岡本正三君，松下幸雄君)。(安田洋一君，阿部信男君)。(長谷川正義君，濱本甲子生君) の三組にて書き上げ 8 月 3 日 13 時 30 分より協會々議にて綜合編成のこと。(5) 會誌「バックナンバー」の處理の件，決定。會誌に残存會誌名を掲げその賣價を附記すること。その他出來得るだけ保存のこと。2. 品質管理部會狀況の件，山岡前會長より詳細現況の説明を聴取。3. 昭和 26 年度第 1 回東京地方講演會報告。日時：26—7—14 (土)。會場：講演東大工學部一號館。懇話會日本工業俱樂部(1)講演「日本に於ける鐵鑛石の處理並に高爐操業に就て」E. S. S. 特別顧問・ミネソタ大學冶金學主任教授 Thomas L. Joseph 君。通譯 G.H. Q 技術顧問 工學博士 堤英三郎君。10 時～12 時 30 分。出席者 120 名。(2) 懇話會午餐後 15 時散會。出席者：(次第不順) ドクタージョセフ君，堤英三郎君。田中清治君，富山英太郎君，俵 國一君，澤村宏君，吉川晴十君，山岡 武君，伊藤隆吉君，内川 悟君，淺田讓君，湯川正夫君，高橋 湛君，白石芳雄君，菊池浩介君，入一二君，馬場俊郎君，濱本甲子生君，光井清君，小平勇君，遠藤勝治郎君。

協議事項 1. 秋季講演大會に關する件，決定，準備に關する件，二件協議の上回答。2. 關西支部規則中改正の件承認。3. 中國支部長推薦の件決定，平岡正哉君え御依頼のこと。4. 入退會者其他會員の異動の件承認。5. 昭和 26 年 7 月分收支決算審議の件承認。